

三十一冊
30

011
176

正安六未九月
萬延元申三月迄

御用留書

五番
六番
内占

0098

御坊村文書

文書
番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

分 0/1
冊 176

引智海之義一海小玉海之義
引在吏引智之義句海打海燒
根德根義之義中取分海之義
海子以分下海之義是又中是又引
智之義是又中是又引海之義
別海之義是又中是又引海之義
上中

0099

御坊村文書

文書
番號

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

一 但丁海指表小玉引盤入玉玉指
指表丁海引盤表玉指入玉玉指
一 表家之介人所入、指針玉玉指
表家之介人所入、指針玉玉指
指針玉玉指

一 保字指針玉玉指

指針玉玉指
引盤入玉玉指
指針玉玉指
指針玉玉指

指針玉玉指

十二

指針玉玉指

砂も多し水も多し引替所へ是より
来申すは是れ是れ是れ是れ是れ
系証事先達と申すは是れ是れ是れ
細片と引替所へ是れ

右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ
地頭台へ是れ是れ是れ是れ是れ
右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ

上

右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ

一、右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ
右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ
右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ
右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ
右へ是れ是れ是れ是れ是れ是れ

卷之五

十

有盡如斯者

一
相法以新紀佛像示後遊以之
長年仙意之義也本製以去陶意不
二
之也相法以新紀佛像示後遊以之

遠近皆以爲奇。自來年平定。始
入。雖有。其。延。王。後。神。之。洞。於。之。向。偏
重。洞。三。術。上。以。是。之。制。如。遠。故。來
以。而。之。外。新。執。之。亦。不。創。如。遠。重。實
之。其。其。堅。合。停。上。者。之。

李經師能於能與社明之廣振不次

船通ふ通年ふ通お船通ふ船
 山梅もふふふふふふふふふ
 山木同話いふふふふふふふ
 外費ふふふふふふふふふ
 也ふふふふふふふふふふ
 暖古洞吹ふふふふふふふ
 新祝ふふふふふふふふふ
 渡ふふふふふふふふふ
 貴貴貴貴貴貴貴貴貴貴
 貴貴山ふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふ
 和歌ふふふふふふふふふ
 停ふふふふふふふふふ
 舟後ふふふふふふふふ

一 玉と糸細紋の襦袢に取付く玉と糸の
右細紋の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
取付く玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢

一 玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢

玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢

一 玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢
玉と糸の襦袢に取付く玉と糸の襦袢

一古洞之爲人所不知者已年分矣洞地
居洞之少所洞產實不若洞之
竟以八處年分矣八所之多以戶
者之相也乃相如近年相地
古洞之少所洞產實不若洞之
之實實之凡人之言洞之產實
藏之者乃相地之少所洞產實

概亦之少所洞產實不若洞之
洞之實實之凡人之言洞之產實
藏之者乃相地之少所洞產實

古洞之爲人所不知者已年分矣洞地
居洞之少所洞產實不若洞之
竟以八處年分矣八所之多以戶

[illegible]

家物之什物及古書等此等物
振備之

申之月

御坊村

石屋

石屋平井町申之月申之月
石屋平井町申之月申之月

竹葉

金屋

石屋

石屋

御坊村

御坊村

一、松林田邊產物等田産物

居所日給と惣和ふ被費弘く
難儀と雖田屋人 equal 並當座
御帳中へ生心給ふ所無中振
郡方何れに給ふ所無中振
中へ与張作事と雖事無知
夫以振事と雖と振事人 equal 計回
過田屋人 equal 等と一等と一
と云おが為る振事と雖と一
此等と雖と雖と振事と雖と

一山此等と雖と一書と雖と日高郡
日郡産物と雖と一振事人 equal 計回
等と雖と一振事人 equal 計回
有と雖と一振事人 equal 計回

板江村の稲作額を以て

申す月 御坊村

佐賀利

右金半片と申す月以て金
谷と申す板江村の稲作額を以て

佐賀

佐賀利

御坊村の稲作額

別紙に記述した紙の月分を指す
御坊村の稲作額を以て

申す月

佐賀

村
店
中

引張る色を以て元より紙の中紙の
中へ紙を張るは紙の爲と云ふは
中へ紙を張るは紙の爲と云ふは

本村より

中へ紙を張る

七段の店屋中

尚書所來の文を以て張るは紙の中紙の
中へ紙を張るは紙の爲と云ふは
中へ紙を張るは紙の爲と云ふは

神り後方神祇乃新志小方寺
社奉行宛分中事、自是中心為
させ、後宜此中、以之

云々

立石森左史

志郎

御代官中

郡内、名高、該人御殿、所、お、
々、御、意、有、々、延、有、村、
打、有、有、者、有、々、小、松、本、村、宿、屋、
自、他、と、有、者、難、故、々、統、新、志、
各、村、内、々、有、該、人、御、中、有、有、
与、有、方、有、座、有、該、中、有、有、通、以

町市も松中村も若くは江戸風城が
其身も亦く其の法を中村の如く
中村の如く其の法を中村の如く
其の法を中村の如く其の法を
中村の如く其の法を中村の如く
其の法を中村の如く其の法を
中村の如く其の法を中村の如く
其の法を中村の如く其の法を

御坊村文書

七の十一

瀬戸川

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

御坊山家

為家

弟

信七

右と浦日家

信也

和川

角

和家

大和

定家

右と色を右と外も右と和家
志方と一と又又又と和家

御坊山家と色と作紙と右と家持と
比る御家と右と又と色と又と和家

御坊村文書

御坊村文書

たのき 未明

川合市

十ヶ村

石原中元

別紙とてお送りする御印定を許

元合は中元村に在りて一色村を
為す也。紙を紙とてお送りする
は紙を紙とてお送りする

下村佐太郎

里内池

石原中元

紙を紙とてお送りする

山ノ下ノ水

水戸又水戸

十ヶ村

水戸中

水戸浦地土と田畑
水戸又水戸
水戸中

山ノ下ノ水

水戸又水戸

水戸又水戸

水戸又水戸

水戸又水戸

水戸又水戸

水戸又水戸

0120

御坊村文書 文書番号 019

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

外族無色之統ありて至色九斗家
其作世より年行流合に於て年候
吟味役中より中より居候村之
より之に於て依て至より中より

中より至り別下村候より

七位 大庄屋下丁

高村米穀より初代所より
其河玉産流に於て格外より價より
より居る全全お傷よりより上より大坂
表より、格外至るよりより認認より
價より貴より小銀よりより及格外
候より格外より厚御に格外より

金葉殿に取お賜ふ身は金葉
 お極小身右刻合より忘れ
 立引ふる中より心は遠く候
 二後者貴人よりお尋ねて
 候なり

別後にお尋ね候なり
 山陰守御や振舞ひたゞし
 困り候ふ所お尋ね候なり
 尺由御給ふ所お尋ね候なり
 御中にお尋ね候なり
 候なり

御坊村文書

一 松林町首 江戸道へ往還田邊局
田邊局町屋より同様に松林町末段まで
江戸道往還し松林町田邊局町屋より
江戸道往還し松林町田邊局町屋より
江戸道往還し松林町田邊局町屋より

江戸道往還し松林町田邊局町屋より
江戸道往還し松林町田邊局町屋より
江戸道往還し松林町田邊局町屋より
江戸道往還し松林町田邊局町屋より
江戸道往還し松林町田邊局町屋より

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

0126

御坊村文書

文書番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

今以福寺有美式之經小者又神
別後之經此修紙小者又福寺有美
而之經美者有美之者又福寺有美
以修之者又福寺有美之者又福寺有美

大月十水 修戸又福寺

利修寺有美之者又福寺有美之者又福寺有美

右浦之店金中

河王有目目

位金十分金

御代官中

御代官中
左末之月別修之者又福寺有美之者又福寺有美
中修之者又福寺有美之者又福寺有美之者又福寺有美
新心大故新美福寺有美之者又福寺有美之者又福寺有美

是之中より所見の二橋を
賜ふ所なりと云ふ事何れに
か

公は台御美事とおぼしめ
来りて後幸楊々やふ心
を改め石
屋に遷りて居るなりと
二十石の積りたる
東道なりと云ふ

いふ事と云ふ事なりと云ふ
所は上段に在る所なり
乃ち後段なりと云ふ事
なりと云ふ事なり

甲子月

乙未の年と云ふ事なり
新築の事なりと云ふ事
なりと云ふ事なり

山

七位院二丁目

山王田屋付所

水所

山王田屋付所

生奥

浦屋所

山王田屋付所

山王田屋付所

山王田屋付所

山王田屋付所

山王田屋付所

此種之種唯湯田屋及公御玉浦
其前之及中綴之月前之白梅
小前之者及及綴之月
此種之及及綴之月

讀花中第一事

東合之石之牙也

但此種

石之牙來其合有中及之字及
乃為其種乃其種及中及之

中及片

日向部
御坊村

太七

御坊村

0130

御坊村文書

文書
番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

諸君中一書

朱合之石山山北之但人持

石山山北

御坊村

中如片

佐三郎

御代官新

諸君中一書

朱合之石山山北之但人持

石山山北

御坊村

中如片

佐三郎

御代官新

諸君中一書

朱合之石山山北之但人持

石田全 御坊村

中村

御代官所

別段云儀此作也、此涉却定事、
元分此是然、右数色是也、

此是元分是涉合、

九月

下村

七組

大店屋

後新地、此是涉、

別段云儀此作也、

御光中、此後、後、い、身、指、有、た、在、記
越、全、一、画、作、く、介、有、又、記、り、ね、解、り
御、中、に

ト、御、使、事、

い、ま、を

法、那

御、代、官、中

一、代、改、元、此、作、出、の、美、延、く、文、字、重、大、事
し、り、又、美、百、く、文、字、い、づ、里、く、方、便、
以、今、も、少、事、を、今、美、く、白、く、記、ね、延、
り、事、

一、御、玉、御、使、事、因、元、七、公、出、と、く、ハ、美、
合、記、之、合、事、く、務、り、記、御、使、事、

相渡、局世傳、金月、後を銀所
新所傳、金、老、浪、度、極、極
中、傳、十、局、去、末、十、月、初、初、中、
心、金、月、少、女、之、銀、初、中、局、向、後、在、銀
所、量、月、性、主、極、中、在、金、少、初、下、銀
之、極、合、流、三、時、初、場、中、初、在、上、初、在、
不、相、南、初、場、初、中、局、初、

一、初、上、初、初、初、是、大、時、初、場、初、初、初、
初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、
初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、

初、初、初、

初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、

初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、初、

字正字小利を歩利歩増重申
又作也、身付後引替差出、此の
乃法を以て、不納取、子為ね増利合
左へ書

一 受替金 百兩身成金、小百兩、身成
長利

一 元禄金 日新身、日 百兩、身成

一 新字金 日新身、日 百兩、身成

一 享保金 日新身、日 百兩、身成

一 元禄金 日新身、日 百兩、身成

一 享保金 日新身、日 百兩、身成
文政金

紙のくはし横紙を紙に折

月

月を紙に折るを紙に

一はた利次と紙に折るは近き利
と引くは月十。今月紙を折るは
紙に折るは月十。和主月十。今月

いし

但新利一紙はた折るは近き
月十。今月十。今月十。

一はた利次と紙に折るは近き利
と引くは月十。今月紙を折るは
紙に折るは月十。和主月十。今月

左記玉々々々々々々々々々

左色乃紅和觸心

全月

右全和局之類也

本所奉旨御定改修不
本所修所^{十餘}石

本若士處所之各三才 宝町字目

竹東屋方

南極町泉屋吉子
金吹町

中井新八

新田 新町

原屋底分
井崗屋底分

一 神事川御家泥外玉細る易に依
わ身依商人
己し利博に競るに陽鏡上
荷元一貫才五之市泥場西に
一 身以府内入伴に荷和に減
金拂度と云ふ人程に依り
付為ふと云ふに依り

一 新穀一水陸一糶一具依系
右系に依り貿易荷和分ハ
月合和是に依り貿易荷和分ハ
新穀一水陸一糶一具依系
御仕法に依り貿易荷和分ハ
月合和是に依り貿易荷和分ハ
新穀一水陸一糶一具依系

茶貿易と分りも見せぬ文に成内
とあるがその積出とし給下給第一石
船物と銘お青いもの故有るハ其月
拾時味と云ふ重し給下中付
左に金津新と市代宿和泉より
土地の少機給と銘初もの己

左に金津新と市代宿和泉より

土地の少機給と銘初もの己

左に金津新と市代宿和泉より

一保字金三字金歩増と銘初
合り給はな新と銘と歩利増と銘
歩利二字金と銘増と銘初

小判を歩判に賣るに拾月、横丁歩判
二年金と後、同様に心得るに金
金用と稱す

正字歩判を歩判に賣るに二年金と後、
大保字金同様、後、同様に心得るに金
金用と稱す、同様に心得るに金
金用と稱す

正字歩判を歩判に賣るに二年金と後、

大保字金同様、

同様に心得るに金

金用と稱す

一、反、吹、立、正、字、歩、判、一、步、判、
二、戸、判、二、年、金、及、以、同、古、金、

一 御座を有る金銀を更替に渡り
友留も御座を有る御座

一 保字正字小判を利二歩利
二年金足利二歩利二合利二
年金足利二歩利二合利二
年金足利二歩利二合利二
御座のたより御座のたより

一 氏家より外に町人の御座
川より利二歩利二合利二
御座のたより御座のたより

一 新少利を金利二歩利二合利二
御座のたより御座のたより
御座のたより御座のたより

卷之九

目錄

卷之九

一 天文曆算世界係系木板行和經表
夫天文者之月人第稿表在書蘭書號
以蘭方醫書本之版八方文方山所

外方、第稿表在係系木板行
化二已自和稿表交書書蘭新以在
和如和方、分後方文曆算、是
包方方方、第稿表在書蘭書
蘭書號以蘭方醫書本之版八方文方山所
蘭新以第稿表在係系木板行

未だ一親先政方新くお願
向くはたお祈り

〽 望云月

一貿易御用港へ後布玉新に往來
船より身元徳命に坐手能ふお祈
付は来洋中下等へ色紙破紙

先高別業等々分、幸極、元来、
中身以を相替り、後、お祈り、
お祈り、お祈り、お祈り、
お祈り、お祈り、お祈り、
お祈り、お祈り、お祈り、

お祈り、お祈り、お祈り、
お祈り、お祈り、お祈り、
お祈り、お祈り、お祈り、
お祈り、お祈り、お祈り、

御別紙に急ぎに致し、
少事あり、
此中、
中々、

十月

懋

村
店
中

別張色御勅宣吟味役中合十事

月夜一色梅香。月半如霜。
村人相語。夜深不寐。中夜。

力

河村海峽

知所處

吳郡御史官人

一試者認物爲五斗屋之二斗下五斗

と他新撰美為原遊る指先の近
着心乃道橋を此の有りて橋脚
さや他方より所乗承心乃道橋
お心乃さやとる大店をさくさく
まゐる

九月

実録 雜穀

一町段と色澤紅定吟味後元分中
穀付左家一色指をる中而穀
月以村よりおをり中い何れを

力の事

河野海舟

大店店名

口云那 市代官、
友生野

一、新お湯、及、友、心、お、ま、お、湯、以、
丸、リ、湯、若、く、勿、備、い、る、い、く、心、為、
遠、お、湯、合、高、丸、リ、湯、心、の、も、有、く、
能、お、湯、力、何、い、る、い、心、お、湯、心、
厚、心、世、話、振、り、も、有、く、事、心、心、
お、ま、丸、心、心、湯、若、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

例年より九月十日、印名を繰
引く物名は、此の如く申す

九月十日、印名

セ戸又下

村

店屋中

市、新の上組、組、月、終、五、付

是迄、古、少、く、解、家、に、相、接、し、る、者、
屋、台、中、に、在、る、と、い、ふ、事

烟、草、市、場、に、在、る、古、本、家、の、物

か、子、家、に、在、る、古、本、家、の、物

南、中、年

烟、草、市、場、に、在、る、古、本、家、の、物

東為御中石段末より北へ

中飛段

一八石少半

御坊村店屋

佐三郎

中御中石段

店屋段末より北へ中飛段

計廿六合

御坊村店屋

佐三郎

一合段末より北へ

一合段末より北へ

右より場御中石段末より北へ中飛段
高石段御中石段末より北へ

中御中石段

右より段末

中御中石段

中御中石段

中御中石段

中御中石段

光

右ノ事ハナニナリ
一合海ニ至ル

右ノ事ハナニナリ

右ノ事ハナニナリ
右ノ事ハナニナリ

中ノ事

右ノ事ハナニナリ

右ノ事ハナニナリ

右ノ事ハナニナリ

右ノ事ハナニナリ

光

右ノ事ハナニナリ
一合海ニ至ル

但上ノ事ハナニナリ

右ノ事ハナニナリ

右ノ事ハナニナリ
右ノ事ハナニナリ

中九片

右令事知

右田事知

右山事知

右雲事知

右金事知

十二月

別後金事知修後金事知
中事知銀造内人及心持之七人
中事知銀造十人

十二月

御戸大次郎

村々店屋中
水重

劉緩急無常動定無常行此合張中
緩急在常一而指在常宜九斗
一此中不偏也十卷

下村松平

上海人民广播电台

一、本價高而所造為人所進者相宜。

上之梯爲本石造之者相宜也
 延以度地工微在口報事石造之
 外擬另爲之石作印身你認造也
 道少極新爲又造爲人及石相宜

奇

一德玉函造後身一和藏之午二道

後藤子とわねとの

九月

右の金おねのるに存を執り

一、米、麦、下飯、合費、御坊村

但、石、貯る、る、り、費

是、ハ、村、内、難、保、人、之、り、人、難、保、
料、石、貯、る、る、り、費、一、日、
費、り、九、九、石、程、り、石、費、大、米、
九、九、石、時、り、石、貯、る、る、り、費

一、米、拾、石

あ、り、石、貯、る、る、り、費、
村、内、り、九、九、石、程、り、石、費、大、米、

右主當時名物月事云々小所丸
續此と云云此修中ノ月南村内厚
中候右主色紙合持出の若湯更
中ノ後云々

中ノ月 御坊村店屋

佐三郎

日村新賣

金三郎

日村日新

太ら

瀬戸又改印店

光

一此所算るお中候
まゝに算る中候
村よりお中候

右云為時名物身御收免御立
月一後分与張作夢一鏡由知作
右之金一相室和御了与湯更
中知身付吹可室中云云

中十一月 御坊村水費

月村月水 金三

右云

月村水屋

佐三

瀬戸入水屋

左云及吉出月水由知和身知更
右云及知水由知和身知更

右京持重より中納言・執事・左衛門
右衛門・左衛門・中納言・左衛門・中納言・左衛門

十一年丁未 下村信光

七郎右衛門・左衛門

別撰・色・湯・和・定・吹・味・湯・中・右・中・東
より中納言・左衛門・中納言・左衛門・中納言・左衛門

下村信光

十一年丁未 下村信光

七郎右衛門・左衛門

右京持重より中納言・執事・左衛門
右衛門・左衛門・中納言・左衛門・中納言・左衛門
中納言・左衛門・中納言・左衛門・中納言・左衛門
中納言・左衛門・中納言・左衛門・中納言・左衛門

近年お終、是に應、節に於て生
馬より、及、送、惠、以、候、も、お、終、り、の
以、来、思、は、れ、上、る、事、也、。

但向時業海、病ふと返
謹以文、お止印、辭、取、等
後、
少、如、
○

十月

別後之遊
 事有存家
 遊者名
 本為之
 執心為
 遊者之
 振者能
 在之
 以水得
 之
 保之
 中
 李

下村信之

古香齋

孫地所積少而如正宏餘多

一村と云ふは、初めと合ふ事、是れ小
元禄元年、村中一戸、一村の村
中、是れ、是れ、是れ、是れ、是れ、
是れ、是れ、是れ、是れ、是れ、

一村と云ふは、初めと合ふ事、是れ小
元禄元年、村中一戸、一村の村
中、是れ、是れ、是れ、是れ、是れ、

初めと合ふ事、是れ小
元禄元年、村中一戸、一村の村
中、是れ、是れ、是れ、是れ、是れ、

初めと合ふ事、是れ小

一 米五斗 收合費

何村

是々村内雜居人何百人飯料
石何石金也より費一日費高
何程？ 在費米宛多時何程
石月より金

一 米何程

何村
金れ

✓ 何程

在々村内雜居人何百人飯料
石何石金也より費一日費高
何程？ 在費米宛多時何程
石月より金

後山寺

何村

唐屋

新賣

是と都合に申すに別後山寺
に於て

光

一全

何村

新賣

地本末石高

右の如く申すに別後山寺
に於て
と申すに別後山寺
に於て
と申すに別後山寺
に於て

何村

唐屋

新賣

0164

御坊村文書

文書
番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

持ていけり書立しるをけりも
何れも多感候といれも様
和讃仕ふと人相村中へお詫
様るをいへん候へり
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候

と申す所をいへん候へり
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候
お慰め其意心配仕候

いふるにふりてふ時ふに事あるとわかれ
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに

いふるにふりてふ時ふに事あるとわかれ
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに
ふれぬにふりてふにふれぬにふりてふに

東知修在、厚、書、言、事、一、同、知、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、

系、お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、

お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、
お、加、後、修、お、後、修、金、御、お、御、修、



或言自ハ抄ノ村方ハ事候セシカモ最
服方村方未出カノ貴親等ト相
長江納定相違江カキト云

中

御坊村和佐屋

修

久松和修村

德馨

右為常務村

脚

唐文公先生手书

步訪村行實

ち

日新

全

0171

御坊村文書

文書
番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

江戸力所版

日村店
修

0172

御坊村文書

文書
番号

019

3^m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

0173

御坊村文書

文書
番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

0174

御坊村文書

文書
番号

019

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

C88.01
G1
1-19

14744
年 月

0175

御坊村文書

文書
番号

019

3m

10

20



0176

御坊村文書

文書
番号

019

3m

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26